

岡山県赤十字救急法競技大会に2・3年生混合チーム参加

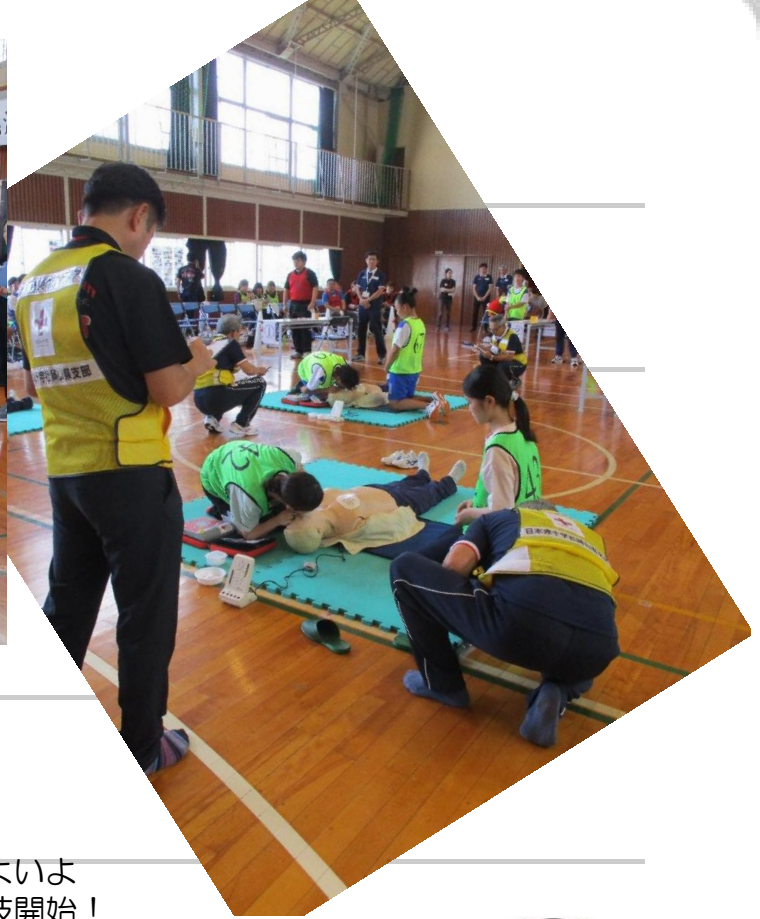
平成29年9月9日（土）に、「赤十字救急法競技大会」が開催されました。今年で4回目となったこの大会は、「救命処置」や「応急手当」の普及による救命率の向上や、万一の際に助け合う心、一人でも多くの方々に適切な手当を身に付けていただくことを目的に、日本赤十字社岡山県支部が企画したものです。心肺蘇生の手順や適切なAED使用の一連の流れを競う「心肺蘇生部門」、三角巾を本結びで結んだ後に解き、三角巾をリレーする「本結びリレー部門」、三角巾を使ったけがの手当の正確性を競う「包帯リレー部門」の3部門に分かれて競技が繰り広げられました。

18チームが出場し、その中で、我が岡山赤十字看護専門学校からも、2・3年生混合チームが出場しました。



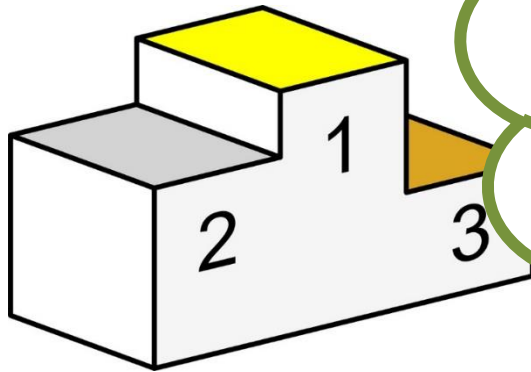
競技開始前、真剣に練習をしています。





いよいよ
競技開始！
審査員の視線を
受け、緊張しな
がらがんばって
います。





救急法競技大会で得たもの 68回生 土岡あかね
今回、私は初めて赤十字救急法競技大会に参加しました。先輩方が毎年入賞しているのでプレッシャーを感じていましたが、心肺蘇生部門と包帯リレー部門で優勝することができました。結果を聞いた瞬間、嬉しさと同時に安堵の気持ちも大きかったです。参加団体も多く、参加者の年齢も様々でしたが、全員が心から楽しんでいることがわかりました。また、お互いを応援しあったり高めあったりする姿に、私も刺激を受けました。今までは人が倒れていても何もできないと思っていましたが、今回の経験を活かしこれからは率先して動き、自分にできることをしていきたいと思います。指導員の皆さん、県支部の職員の方々、ありがとうございました。